

みなと新聞 5月17日

大手水産食品4社3月期連結

13年3月期大手水産食品決算

(単位:百万円、%)

社名	売上高	前期比	営業利益	前期比	営業利益率	経常利益	前期比	純利益	前期比
マルハニチロホールディングス	809,789	▲0.8	11,996	▲27.0	1.48%	13,250	▲10.9	5,448	60.9
日本水産	566,858	5.4	5,809	▲39.2	1.02%	5,443	▲35.2	▲4,789	-
ニチレイ	470,126	3.3	17,932	10.8	3.81%	17,202	12.8	9,823	24.3
極洋	178,046	▲2.1	2,324	42	1.31%	2,262	32.5	1,269	200.0

セグメント別業績

(単位:百万円、%)

社名	水産事業					食品事業				
	売上高	前期比	セグメント利益	前期比	営業利益率	売上高	前期比	セグメント利益	前期比	営業利益率
マルハニチロホールディングス	486,469	▲5.3	4,083	▲48.7	0.84%	302,452	7.7	8,545	▲10.6	2.83%
日本水産	232,939	4.1	▲2,515	-	-	268,049	3.5	1,909	▲46.5	0.71%
ニチレイ	63,438	▲3.4	70	▲68.5	0.11%	257,786	4.2	6,554	15.4	2.54%
極洋	108,485	▲5.9	2,494	24.4	2.30%	66,056	4.8	458	▲41.0	0.69%

社名	物流事業					その他事業				
	売上高	前期比	セグメント利益	前期比	営業利益率	売上高	前期比	セグメント利益	前期比	営業利益率
マルハニチロホールディングス	15,382	2.7	1,385	1.5	9.00%	5,484	▲14.6	1,007	19.6	18.36%
日本水産	13,389	7.6	1,836	7.4	13.71%	27,510	5.8	7,341	20.0	26.68%
ニチレイ	142,229	▲4.9	8,562	15.9	6.02%	6,670	▲0.1	2,716	▲4.3	40.72%
極洋	3,435	▲2.5	▲324	-	-	67	▲13.0	101	▲2.9	150.75%

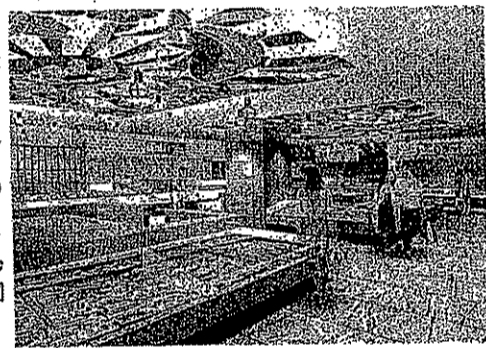
*日本水産のその他事業はファイン事業、極洋の水産事業は水産商事事業と経・銷事業の合算値、食品事業は冷凍食品事業と常温食品事業の合算値、ニチレイの食品事業は加工食品と畜産事業の合算値、その他は不動産事業とその他事業の合算値

ニチレイが增收増益 水産は極洋健闘も3社苦戦

大手水産食品4社の2013年3月期連結決算が出そろった。食品、物流が好調だったニチレイが增收増益で、水産が健闘した極洋は減収も増益だったが、マルハニチロホールディングス(HD)は荷受関係が落ち込み減収減益、日本水産は增收も減益で海外子会社の整理に伴い最終利益は赤字となった。

食品、物流 ニチレイ好調

セグメント別では、水産事業がチリ産キンザケの価格暴落や輸入凍魚の単価下落などの影響で苦戦。マルハニチロHD、ニチレイ、極洋の3社が減収。利益もカツオ・マグロ関係が好調だった極洋を除いて3社とも減益。日本水産は赤字となった。食品事業はニチレイの好調さが際立った。市販・家庭用、業務用とも好調で增收。2桁増の利益を上げた。マルハニチロHDはヤヨイ食品の子会社化で增收だったが、その利益は約1割減となった。日本水産は增收も魚肉ソーセージなど苦戦し利益は半減。極洋も增收となったが利益は4割減としている。物流は業界トップのニチレイが好調。ニチレイは今後、好調な食品事業と物流に集中的に投資していく。その他事業では、EPAを中心に力を入れる日本水産のファイン事業が增收増益。70億円余りの利益をたたき出している。



鮮魚コーナーのイメージ図

鮮魚売場

木津市場と共同企画

あべのハルカス近鉄本店タワー館

6月13日開業へ

【大阪】近鉄百貨店は、「あべのハルカス近鉄本店タワー館」(大阪府阿倍野区)を6月13日に開業すると発表した。近畿日本鉄道(株)が開発する地上300m、60階建ての日本一の超高層ビル「あべのハルカス」の地下2階から地上14階までの部分で、営業面積は5万7000平方メートルに及ぶ。

食品関係では、タワーする」としている。館の地下1階が洋菓子。このうち、鮮魚売場は高層。和菓子フロア。地下2階(株)マルカワが担当。料理。このほか、地下2階の中心とした地下2階には、生鮮品と日配・グ店や寿司屋などに並ぶの「あべの市場食堂」には、ら地上9階の「ワイングロサリー」の「あべの新鮮」と同じ魚介類を提供する「回転寿司「がんと」」など館が開業予定。タワー市場(約2100平方メートル)。また、大阪木津卸売7店が出展。カシユアル館の地下1・2階とウイング館地下2階(惣菜・和洋酒・銘店キフト)の3フロア、9000平方メートル、関西最大級の食品売場「あべのフード」。

塩干売場

新鮮な魚を特殊乾燥機で干物にして販売

地下2階の「あべの新鮮市場」は、毎日気軽に立ち寄れる市場感覚のフードフロアで、素材と鮮度に市場との共同企画による食事とテイクアウトがシテイを構成する予定。こだわった生鮮品と約6近海の活魚販売コーナーで、できるタルメリアとなる。両館開業後の年間目標来店客数は4500万人。配・グロサリーを展開。塩干売場は、(株)ジャパまた、12階から14階に、百貨店部分の売上高「ワンストップ」でのスピンスクリエイトが担は飲食店44店舗2800と専門店部分の取扱高を「デイリー」な買い物で毎日。当。特殊冷風乾燥機が導席を擁した、日本最大級合計した売上高目標は1の食卓を彩るお手伝いを入され、新鮮な魚が同店のレストラン「あべの」の450億円。

地上300m・60階建て、日本一の超高層ビル